

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 子宮頸癌に対するメトホルミンの有効性についての後方視的検討

【研究の概要】

●研究の目的

メトホルミンは、糖尿病治療として長らく用いられている内服薬ですが、がんの治療にも効果があることが分かってきており、実際にメトホルミンを服用していた方は子宮頸癌のリスクが低下したという海外の報告もありますが、データは乏しいのが現状です。そこで、本研究において、過去に治療を受けた子宮頸癌患者さんを対象として、糖尿病の合併の有無と、糖尿病薬としてのメトホルミン使用の有無を調査することにより、子宮頸癌の治療に及ぼすメトホルミンの影響について検討することを目的としています。

●研究期間

承認日～2021 年 10 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。

●対象となる方等

研究機関：■附属病院 ■葛飾医療センター ■第三病院 ■柏病院

対象となる方：

- ①stage II-IVA の子宮頸癌の患者さんで、2013 年 1 月 1 日– 2015 年 12 月 31 日までの 3 年間に初回治療として放射線療法または化学放射線同時療法を受けた方のうち糖尿病の治療をされていた方
- ②stage IVB または再発・残存子宮頸がんの患者さんで、2016 年 5 月 23 日–2017 年 12 月 31 日までの約 1.5 年間にベバシズマブを含む全身化学療法を受けた方。

●研究に利用する試料、情報等

情報： 診断時年齢・BMI (Body mass index)・病歴・糖尿病合併の有無・糖尿病治療薬（メトホルミン）使用の有無・HbA1C 値、子宮頸癌の情報（診断日・ステージ・組織型・リンパ節転移の有無・腫瘍マーカー（SCC）・分子標的治療薬（アバスチン（ベバシズマブ）の使用の有無）、子宮頸癌の再発の有無・再発日や再発部位など

●他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：新潟大学産婦人科 西野幸治

〒951-8510 新潟県新潟市中央区旭町通 1-757 TEL：025-227-2320 FAX：025-227-0789

＊本研究は、韓国 Korean Gynecologic Oncology Group (KGOG) と共同で行う国際共同研究です。

研究機関および JGOG/KGOG 事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さん個人とデータおよび試料とを連結するための対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理し、外部への提供は行いません。また、患者さん個人とデータおよび試料とを連結するための対応表は、韓国 KGOG には提供しません。

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ☒電子的配信 □その他（FAX）

提供する試料・情報の種類：診断時年齢・BMI (Body mass index)・病歴・糖尿病合併の有無・糖尿

病治療薬（メトホルミン）使用の有無・HbA1C 値、子宮頸癌の情報（診断日・ステージ・組織型・リンパ節転移の有無・腫瘍マーカー（SCC）・分子標的治療薬（アバスチン（ベバシズマブ）の使用の有無）、子宮頸癌の再発の有無・再発日や再発部位など

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

- ・東京慈恵会医科大学附属病院 産婦人科 教授 岡本 愛光（おかもと あいこう）
住 所：東京都港区西新橋3-19-18 電 話：03-3433-1111（代表）
- ・東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 産婦人科 講師 齋藤 元章（さいとう もとあき）
住 所：東京都葛飾区青戸6-41-2 電 話：03-3603-2111（代表）
- ・東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科 教授 高野 浩邦（たかの ひろくに）
住 所：千葉県柏市柏下163-1 電 話：04-7164-1111（代表）
- ・東京慈恵会医科大学附属第三病院 産婦人科 教授 山田 恭輔（やまだ きょうすけ）
住 所：東京都狛江市和泉本町4-11-1 電 話：03-3480-1151（代表）

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。